

目標達成計画

作成日：平成 23年 12月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保について勉強会を行ってきたが、日常の介護の中で活かされているか、一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けをかけているか学んだ事が活かされているか考える必要がある。	勉強した事が日常の介護の中で活かされていると実感できる。	毎月の会議の中で、人格を尊重した介護ができたか、誇りやプライバシーを損ねない介護ができたか反省をおこなっていく。苑でおきた事例をあげ職員全員で討議する。	12ヶ月
2	12	重度化や終末期に対し話し合いを行なったが具体的に方向性が見えない現状である。再度話し合いを行い、重度化や終末期に向けた方針がひつようである。	スタッフ全員で話し合い、ホーム内での考えをまとめ、確実な方針をつくっていく。	職員会議にてスタッフの考えをまとめ方針を確実な物とする。本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来る事を十分に説明しながら方針を共有していく。	10ヶ月
3	13	年2回、消防署立会いで避難、消防訓練をしている。ホーム内でも災害や避難についての話し合いを2ヶ月に1度話し合いを行ったり自治会を通じ訓練参加を呼びかけているが、近隣住民の参加が達成できない状況である。	避難訓練、消防訓練にスタッフだけでなく自治会の方が参加して下さる状況になる。	2ヶ月に1度の防災についての話し合い、避難訓練実施を行いながら、自治会、近隣の方々、運営推進会議などで常に話題に掲げ情報をいただき、自治会、近隣の方に参加の声をかける。	12ヶ月
4	13	火災や地震、水害等の災害時の備蓄が検討中である。	災害対策としての備蓄ができる	職員会議にて必要なもののリストをつくり準備する	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。